

地域が主役

～県内の自主防災組織の現状～

自主防災組織率の現状

(平成24年4月1日現在)

組織率	市町村名
100%	須崎市、東洋町、 田野町、安田町、 北川村、西馬路村、 芸西村、本橋山原町、 大津野町、大月町、 三原村、黒潮町
90%以上	室戸市、安芸市、 南国市、宿毛市、 土佐清水市、 四万十市、奈半利町、 土佐町
80%以上	土佐市、香南市、 大豊町、いの町、 四万十町
70%以上	仁淀川町、佐川町、 越知町、日高村
70%未満	高知市、香美市、 中土佐町



ヘルパちゃん



たいさくくん

○高知県の自主防災組織の組織率は74.7%

- ☆自主防災組織の数は、2,186組織
- ☆14の町村で組織率が100%を達成
- ☆8市町で組織率が90%以上



トラフ博士

毎年8月30日から9月5日までは

「高知県南海地震対策推進週間」

です。

これからの取り組み

- 高知市などの人口密集地域や、山間地などで集落が点在している地域における組織化に向けた取り組みを強化していきます。

最大級の津波に備えよう！！

平成24年3月31日に国から新たな津波高の想定が公表されました。これは、全11パターンのシミュレーションの中から各市町村の最大津波高を抜粋したもので、高知県では黒潮町で34.4m、土佐清水市で31.8m、また高知市でも14.7mという想定でした。

県では、来たる南海地震からの大津波に備えて津波避難計画の策定を進めています。平成24年4月1日時点で県内沿岸部の19市町村すべてにおいて津波避難計画の策定が終了していますが、今後は新たな想定を踏まえた見直しや、津波避難計画（地域計画）の策定を進めていかなければなりません。



つなみまん



じんまん

※津波避難計画とは？

地域の实情に合わせ、津波到達予測時間や、津波予測浸水深などを事前に理解し、避難経路や避難場所を明らかにしておくことで、津波から早期に避難する意識を向上させることを目的に作成されるもので、市町村が策定する津波避難計画と、地域における津波避難計画（地域計画）があります。



ゆうどうくん

高知県防災キャラクター
© やなせたかし

平成24年9月2日（日）は

地域みんなで自主防災訓練

（県内各地で開催されます）

※ 防災訓練の詳細な内容や、自主防災組織に関することは、お住まいの市町村、または、南海地震対策課までご連絡ください。

【問い合わせ】

高知県 危機管理部南海地震対策課 〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 / TEL 088-823-9317 / FAX 088-823-9253